



第87号

発行日  
2008年4月24日

発行所  
福井市春山2丁目7番15号  
社団法人 福井市シルバー人材センター  
編集委員会

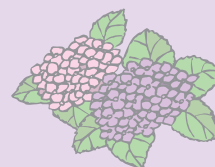
電話 0776(27)0701  
FAX 0776(27)0779

## 「ひだまりの家」など視察 知事と、市長と語る会

理解いただき、励まし受ける



感想を述べる西川知事



西川知事との「座ぶとん集会」

## 盛大に開催 "歌声喫茶in風の森"

3月16日(日)、福井新聞社風の森ホールにおいて、「歌声喫茶in風の森」が300名余りの参加者を集めて盛大に開催されました。

これは、「退職前高齢者生きがい就業体験事業」として行われたもので、これからシルバー世代になろうとしている50歳代後半から60歳代前半の方々、いわゆる団塊の世代を対象に、シルバー人材センターの事業内容を知ってもらおうと企画したものです。当日は事前に申込みをした方々が参加し、開演に先立ちシルバー人材センターの会員として就業する意味について朝倉常務理事が説明をしました。

その後、地元アマチュアバンドの生演奏に合わせて懐かしいフォークソングを全員で歌ったり、コンサートが進むと我さきにとステージに登ったりと、当時の歌声喫茶そのものの様子でした。

また、スペシャルゲストとしてフォークシンガーの高石ともやさんが登場し、趣味のマラソンの話を交えながらお馴染みの曲を披露、約1時間のライブはおおいに盛り上がりました。



熱唱するゲストの高石ともやさん

## 成果のあった地区懇談会

—今後の業務に生かしていこう—



会員相互の交流を図ると共に、当面する課題について話し合う地区懇談会は、2月から3月にかけて各地区でそれぞれ開催されました。

北部地区の懇談会は、3月11日すかつとランド九頭竜において50名の参加のもと行われました。山本理事長のあいさつに続いて、町井業務課長から事業状況等についての説明がありました。山本理事長は、あいさつで「会員相互が顔を合わせる機会として、毎年、意見の交換等を行っていること、事業が順調に進んでいること、団塊の世代を迎え、会員の増強に積極的に取り組む必要があること、また先般の『知事と語る会』、『市長と語る会』で市長からひだまりの家で感謝されたこと」などが話されました。町井課長からは、「統合後いろいろと厳しい面が出てきていること、指定管理者制度は思ったより大変なこと、最近クレイマー(苦情を言う人)が増えてきていること」などのほか、今後は業務の開拓を進め、会員の就業率を高めていくことが大切であり、スムーズに「公益社団法人」へ移行するためには、存任意義を高める必要があることが話されました。

作業中のマナーについては、「常に誠意をもって取り組み、会員としての自覚を持つことが必要だ」と話されました。最後の意見交換では、「かわら版」やテレホンサービス等の就業情報により希望する業務をよくキャッチし、就業機会を増やしていくこと、就業中の安全については特に注意する必要があるなどの意見が出されました。

作業中のマナーについては、「常に誠意をもって取り組み、会員としての自覚を持つことが必要だ」と話されました。最後の意見交換では、「かわら版」やテレホンサービス等の就業情報により希望する業務をよくキャッチし、就業機会を増やしていくこと、就業中の安全については特に注意する必要があるなどの意見が出されました。



北部地区懇談会の様子



# 今日も元気な80代



## 高齢会員の紹介



### 忙しいけれど楽しい毎日

西部第1地区  
豊5班 小西谷久子(82歳)  
大正15年(1926年)5月26日生

私の好きなシルバー人材センターに入会してから早や20年、私も82歳になってしまいました。今でも週2回程度、掃除の仕事をしております。これも皆様のおかげ、また家族のおかげとまず感謝しております。

このように健康でいられる秘訣は、自分の好きなものを食べて飲んで、喜ぶことだと思います。それから過ぎ去りし事は考えず、楽しかったことは思い出し、いやなことは忘れるようにしております。また、月に一回は、気分転換のためにいろいろな人と小旅行に出かけ、楽しい思い出を作ります。そしてお茶やお花、川柳や

詩吟など多くの趣味を持ち、いろいろな教室に通う、忙しいけれど楽しい毎日です。

この頃は、殺人や環境問題など毎日あまりよいニュースもなく、何か寂しい方向へと変わりつつある日本。いったいどうなるのでしょうか。

でも、こういう世の中だからこそ自分でできることを考え、人に頼ることなく自分を律していかなければならないと思います。

これからもいろいろな人と良い出会いをし、仲良く力を合わせて、生ある限り元気に頑張りたいと思います。



元気に仕事に励む小西谷さん



### 互助会で囲碁を楽しむ

西部地区  
湊5班 石倉 幸次(81歳)  
昭和2年(1927年)8月2日生

シルバーの会員になったのは定年から数年後、調査の業務を主として来ました。年が過ぎるのは早いもので、いつしか傘寿を迎え、体力の衰えを感じる今日です。長い間、シルバーの理事も務めさせて頂き、皆さんにはいろいろとお世話になりました。囲碁の同好会が出来て以来、毎週ワークプラザへ碁を打ちに行くのが運動を兼ねて楽しみとなっています。碁と将棋は職場で同僚と我流で覚えたもので、上達するものではありません。交際と称して麻雀もやりましたが、卓を囲むとなると四人必要なのでその点碁は相手を選ぶには最適です。同好会には有

段者が多くいます。その段位にも届かないザル碁しか打てない私ですが、雑念を忘れ思考し碁が一局ごとに変化し、勝ち負けが決まるのが楽しいものです。ある医者と言いましたが、高齢者にとって碁は脳の活性化に大変良いのだとか。今年の大河ドラマ篤姫の中で碁を打つ篤姫の場面が時々ありますが、当時のお姫様が碁を嗜んだのか？もし本当なら将軍家へ嫁いだ流石の姫だと思います。

同好会で真剣に碁盤を見つめる顔、会員みんなの和気藹々とした姿は実に美しいものです。現在の私の生きがいは、囲碁といっても過言ではありません。



囲碁を打つ石倉さん

## 「座ぶとん集会」

去る2月12日、ワークプラザにおいて、西川知事との座ぶとん集会が開かれました。知事は、開会の11時前に到着され、さをり織りやソーイングなど館内を巡回のうえ、出席されました。山本理事長のあいさつ、朝倉事務局長の事業の説明に続いて、各理事より担当する事業についての説明が行われ、最後に知事より感想と意見が述べられました。その後、ビデオを鑑賞し、会員による手作り弁当の食事をしました。閉会后、知事は山本理事長らの案内により、「ひだまりの家」を巡視されました。



### 知事と語る

#### 知事よりの感想

本日はこの集会を開いて頂きありがとうございました。いろいろと作業されている現場をみて驚きました。シルバーといえは植木・除草と思っていましたが、室内の子育てやボランティアなど幅広く、頑張っておられることに感謝しております。各説明もわかりやすくよかったです。農業については「限界集落」への課題もあり、加工食育の面で頑張ってもらいたい。福祉については、先進的な活動をされているが、他の地域への指導と応援をお願いしたい。また、月のうち10日程働き、趣味を持って楽しく余裕をもって生活することを忘れないように。今後の更なる発展を期待しております。

## 「あじさいトーク」

去る2月25日、午後4時からワークプラザにおいて、東村市長と語るあじさいトークが開かれました。

市長は、3時半から「ひだまりの家」ワークプラザ内を巡回されました。4時からビデオ鑑賞の後、山本理事長のあいさつ、朝倉事務局長の概要説明に続いて、担当理事より意見発表が行われました。

最後に市長より、「あじさいトークの終りにあたって」の感想と意見が述べられ5時に終了しました。



#### 市長よりの感想

今日はいろいろと活動の状況を見せて頂きありがとうございました。思っていたより広い範囲の事をやっておられることを感じました。私の庭木の剪定は、シルバーセンターにやってもらっており大変助かっています。私は、昭和50年に県庁に入ってより、主に老人問題として老人ホーム・在宅福祉・医療などに携わってきましたので、シルバーのやっておられる介護支援、子育て等について頑張っておられることがよく理解できました。いま社会問題として団塊の時代を迎え、大きな局面を迎えています。シルバーに対する期待は大きいと思います。今後どんな仕事を増やしていくのか、会員をどのように増やしていくのか等について考えて頂きたい。提案を頂いたことについては検討したいと思います。

介護をはじめとして、元気な人が他の人を元気にする、それがまた自らの元気につながるといったサイクルを拓けてもらいたい。私どもも頑張りますので、皆さんも頑張ってください。

### 市長と語る

### 語る

## 地域農産物加工事業(食堂事業)の実施にむけて



理事 清水支所 前川 清司

昨年10月より協議を重ねてきましたこの事業は、2月5日JA越前丹生県産協同組合と協定が成立し、いよいよ事業の推進をはかることになりました。

いま、食育・伝承料理が注目されており、地域産業としての「地産地消」を主眼において、里の幸、山の幸、海の幸を使った農産物の直売所にしていきたいと思っております。

食材を生産する人、料理する人、これを食べる人の顔が一体となった施設として皆さんに大いに利用して頂けるよう頑張っていきたいと思っております。



農産物加工事業の食堂建設予定場所

## 平成20年度の新規事業がスタート！

### 『ライフサポートげんきくん・クリーンサービスげんきくん』

皆さんの周りに「ちょっとしたことだけど自分ではできない、どこに頼んだらいいかわからない。」というような、1時間程度で終わる仕事はありませんか。

センターでは、家事全般を手助けする「ライフサポート」事業をこの4月から始め、発注者から電話を受けたら、専用の車ですぐに参上してサービスを行う体制を整えました。

また同時に、換気扇やトイレなど家庭の大掃除を行う「クリーンサービス」事業も行います。

スピード解決をモットーに、担当する会員達は少しでも市民の皆様のお役に立てばと張り切っています。お近くに困っている方がいらっしゃいましたら、センターまでご連絡下さい。



ライフサポートの専用車

会員のひろば

# 思い出のアルバム



## 懐かしい松茸狩り

清水地区 宮本 豊

昭和37年頃には、まだ福井にも松茸がよく出て、秋になると山すそに松茸狩りの予約承りという看板を日にしたものです。県内では大野、勝山、西安居地区でよく採れました。私の思い出は、勤務先の仲間と西安居地区に行った時のことです。地主の案内で山に着くと、「ここからここまでの松茸は全部今日のお客様の松茸ですから1本も残さず採ってください。大、小合わせて30本ほど有ると思う。」との説明がありました。すき焼きと、塩焼きで賞味し、帰りの際にはお土産付でありました。このような松茸の思い出は今から46年前で

すが、私の脳裏には今もってはっきりと焼き付いています。帰りに大きな柿をご馳走になった秋の一口。その時お世話になった渡辺様有難うございました。



昭和37年 西安居にて



## 私の生き甲斐 混声合唱

清水地区 林 美智子

平成13年シルバー人材センターの会員になりました。仕事は特別老人介護施設に入居しておられる方のつくり物や名札付け又は介護職員さんからの依頼で試作品などを作る事もあります。試作が出来上がった時に「これはとても使いやすくて助かっています」と礼を言われると、年甲斐もなく嬉しくなり、1Hでも健康でいたく仕事の出来る喜びを感じます。

私の生き甲斐は、混声合唱の方と歌を歌っていることです。練習は午後8時から、昼は野に出て夕方方は6人家族の夕食を作って、7時45分に家を出る頃には疲れて気乗りのしない時もあります。しかし、練習場のセンターに行き皆さんの明るい笑

顔と出会い、そして先生が真剣に私達にご指導下さる時、私達も腹のそこから声を出し爽やかな気分になります。家に帰り風呂の湯ぶねに浸りながら今習って来た歌を口ずさむ時、身も心も軽くなる様に思います。これからも心を明るく持って健康を維持しながら生きて行きたいと思います。



平成2年 きらら館にて

# 平成19年度の就業事故について

平成19年度の事故件数は8件でありました。過去9年間の平均事故件数は、11.1件で統合による就業会員数の増加を考慮すれば実質40%の減少となり、誠に喜ばしいことでもあります。これも偏に、「会員皆々様の安全に対する意識の高揚とご協力」の賜物と深く感謝申し上げます。

ただ右表で、是非注目して頂きたいのは就業途上の事故が4件で50%を占め、しかもその内「女性が3人」も占めていることです。福井市シルバー人材センターでは

**「就業事故〇」**が最終目標です。  
「自分の身体は自分で守る」をモットーに**安全第一**で就業していただきたく、宜しくお願い申し上げます。

(安全推進員 高木 謙治)



安全パトロールの様子

## 平成19年度 就業事故一覧

番号	性別	年齢	状況			作業名	事故の型	事故の状況・障害部位等	事故		
			就業	就業途上	交通				死亡	入院	通院
1	女	72	○			屋内作業 食肉加工	転 倒	食品加工の作業で、滑り止め防止のために敷いてあるタンポールの継ぎ目に足を取られて後方に転倒した。 (腰部打撲)	○	○	○
2	男	71			○	屋内作業 食品整理 陳列	交通事故	就業のため、信号のない交差点を自転車で横断中、左方からきた乗用車に轢かれた。 (頭蓋損傷)	○	○	○
3	女	72			○	屋内作業 清掃作業	交通事故	家事支援の為マイカーで就業途中、交差点で信号待ちをしていたところ、後続のワゴン車に追突された。 (頭椎捻挫、腰椎損傷)	○	○	○
4	女	78				屋内作業 食品整理 陳列	交通事故	食品の陳列作業を終えて、自転車で帰宅途中、自動車に接触(追突)された。 (胸部打撲、背骨圧迫骨折、肩甲骨損傷)	○	○	○
5	女	72	○			広報誌 配 布	噛まれ	選挙公報誌を配布する為、自転車で走行中、宅内から出てきた放し飼いの犬に噛まれた。 (右足首骨折、右膝打撲擦傷)			○
6	女	66			○	屋内作業 事務所清掃	転 倒	事務所の清掃作業に就くため、路側部を歩行中、段差につまずいて転倒した。 (右膝後十字靭帯付着部剥離骨折)			○
7	男	69	○			屋外作業 ブロック 積み工事	転 倒	一輪車でモルタルを搬送中、雨あがりで地盤が濡れていた為に足を滑らせて転倒、しすの角に左腰部を強打した。(左腰部骨折)			○
8	女	66	○			屋内作業 清掃作業	転 倒	クラブハウス暖房機の清掃で「ぶらさがり健康器」の高部の拭き掃除をしていたところ、足を架けていた折りたたみ板の仮止め紐がきれ、後方に仰向けに転倒した。 (胸椎圧迫骨折)			○
事故計			4	0	3						
			4		4						

平成20年 2月末日現在

## あじさい俳句会

◆一月  
沙汰もなく賀状で継ぐ友もあり  
顔ぶれの揃いめでたき初句会  
山ろくの化粧すませず山眠る  
初日の出詩吟一節気分よし  
それぞれの餅の煮煮て祝いけり  
福笑い笑い顔など気にしない  
隙間風誰ときさやく陶狸  
着ぶくれる伯母の一步に手を添えて  
嫁ガ君ちらちら見えて賀状描く  
雲ぬぎて初富士清き忍野里  
肩書きや家に帰ればちゃんちゃんこ  
新年会肥えた瘦せたと大笑い

◆二月  
立呑と唇は呼べど寒去らず  
猫柳小川に沼うて揺れ動く  
寒明けに並樹に咲くや雪桜  
みぞれ降り入字試験引きしまる  
森閑と豈冷たき仏間かな  
掌に地の温もりのふきのとう  
息災を稔身にあぶるどんどの火  
石護士の深夜に幾度冬の月  
ひそやかに紙びな折りて年重ね  
風舞ひて厳冬富士に煙立つ  
沈丁の香に包まれる狭庭かな  
パスポート取りし行き先決められず  
着ぶくれて体のくぼみなかりけり  
野辺小川水匂いをり片を摘む

◆三月  
日だまりに小鳥さえずる狭庭かな  
新しき家族がひとり誰の家  
雑草に野花一輪春の道  
野遊びや座する土の香背戸ぬくし  
灯を消して秘かな寝息離の部屋  
初陶芸いびつなれども花盛り  
風神も雷神も来て冴え返る  
千鉢の鈴の音が鳴る馬酔木展  
階段を登るがごとく梅笑い  
福寿草蕾みつけた子の笑つ口  
風花や陽当たりながら舞ひながら

石島川吉高 浅石藤中福児 石島新本川 浅石吉藤 婦中福児 石島河高石 浅吉藤 婦中福児  
本津崎村塚 田丸田東島玉 本津田祿崎 塚田丸村田度東島玉 本津崎塚丸田村田度東島玉  
志紀行照美美 照ミ一宏 志紀ト徳行美美 照照ミ義一宏 志紀行見照美美 照照ミ義一宏  
明代子代子 明代子



# 支所を支える三兄弟

清水地区で三兄弟そろって頑張っておられる会員を紹介します。渡部与九郎、渡部三郎、渡部眞男の、人呼んで「団子三兄弟」。長男の与九郎さんは現在ふくい健康の森で頑張っておられ、また地区班長、運営委員、会員互助会の役員として、公私ともに活躍されておられます。三男の三郎さんはSSTランドの広大なキャンプ施設、バーベキュー、バンガローの維持管理に勤めておられます。五男の眞男さんは健康の森内にある知的発達障害者の人達の自立と社会参加支援施設で一生懸命、彼らを上手に指導しながら一緒に仕事に取り組んでおられます。今で

は、当支所にとって、お客様から絶大な信頼のある三兄弟はなくてはならない存在であります。  
(松村 眞)



左から五男の眞男さん、長男の与九郎さん、三男の三郎さん

## 新しい仲間です

(平成20年1月～3月に入会された方々)

- 日之出** 田中清司 **円山** 堂林 暲 **和田** 倉健治郎 **岡保** 西川美代子 酒井典夫 **東藤島** 安野清彦  
**湊** 池田力也 河原吉朗 安間健次 **国見** 岩城満郎 **鷹巣** 林島太郎 **豊** 永出一己 出中 勉  
 小林洋子 **足羽** 川口弥治郎 **社南** 藤井修二 車 稔子 奥田宣子 近藤富子 **社西** 南川惣信  
**社北** 田中乃子 川田民子 大野 忠 **清明** 中山たまえ 爬揚正治 **東安居** 北川正夫 三浦武子  
**中藤島** 小川一男 金子治子 村尾榮三 **森田** 出口一枝 幸風 豊 **明新** 西村一弘 **東郷** 増山賢治  
**麻生津** 門前 誠 天谷成信 伊藤幹夫 坂下 博 海野弘子 **清水西** 渡辺源太郎 渡辺光男  
**清水南** 三上利幸 近藤隆一 三上重二 **越廼** 大津谷みち子 長谷川邦枝 塚本榮子

以上17名 (公民館単位 敬称略)

### 事務局便り

この度、4月1日付けで、清水支所長が交替されました。

新任支所長 渡辺丈左エ門  
旧支所長 前川 清 司



渡辺 丈左エ門

### 3月31日現在 本所・支所ごとの会員数

	男	女	計
福井本所	1,098名	695名	1,793名
清水本所	147名	130名	277名
美山本所	66名	54名	120名
越廼連絡所	18名	29名	17名
合計	1,329名	908名	2,237名

### 会員のおくやみ

(平成20年1月～20年4月)

- |       |            |
|-------|------------|
| 宝永地区  | 端 川 正 隆 さん |
| 春山地区  | 野 瀬 哲 三 さん |
| 春山地区  | 佐 野 幸 一 さん |
| 松本地区  | 坂 木 喜 代 さん |
| 和山地区  | 長 島 繁 雄 さん |
| 岡保地区  | 吉 村 進 さん   |
| 湊 地区  | 國 嶋 武 夫 さん |
| 社西地区  | 藤 北 正 雄 さん |
| 清明地区  | 光 家 光 洋 さん |
| 清水西地区 | 広 部 武 夫 さん |

### 編集後記

新旧年度の活動情報を写真とともに目の前に掲げると、躍動感が伝わりさすがにすばらしい。会員募集のための「歌声喫茶」の盛況、知事や市長との語る会や各地区での会員懇談会。さらに、今課題の食育についての取り組みも本格化。地域の農業を育て、地域の健康を守る新しい事業として「地域農産物加工事業」の調印がなされるなど、シルバーパワー満載の記事に接し、何とも頼もしく、新緑・薫風の季節感とともに、爽快な気分での編集になりました。(田嶋 丈治)

● 編集委員 ● 小谷克朗、田嶋丈治、石森英次、池尾清隆、松村眞、土屋黎子、島津紀代子